

つながる Asia Cafe アジアカフェ



毎月第2日曜日

13:00~20:00

くるくるきっさうつみ

気仙沼八日町

ようかまち

まいつき
2ばんめの
にちようび

みんな
きてね

しゃくしょ
の
まえ



instargam

2022年11月にスタートし、まる2年がたちました。

「町で外国人を見かけるけれど話したことがない」という声を聞き、気仙沼に以前から暮らす方と外国から移り住んで来た方が出会える場として、八日町の「くるくる喫茶うつみ」さんを月に一度お借りして、いろいろな国の料理をつくって交流を進めて来ました。

運営に携わる地元の人が現れたり、気仙沼小学校での交流やアート事業に参加した子どもたちがやって来たりしています。今後は周辺の商店街などと連携した事業を展開していきたいと思っています。

おもなスタッフ



中川真規子
Makiko Nakagawa

埼玉で育ち、ラオス、タイ、フィリピン、インドネシア、そして塩竈とフラフラしながら生きてます。つながるアジアカフェが、あなたと、誰かと、自分と、せかいとをつなげるとびらのようになっていってほしいです。



門脇篤
Atsushi Kadowaki

仙台市在住。現代アーティスト。仙台的仮設住宅で始めた「おしるこカフェ」をきっかけに、食とアートをテーマとした場づくりを行っています。



千田 遊人
Yujin Chida

名前の通りの定職に就いていない遊ぶ人。得意の英語を活かして、通訳・翻訳などで道を切り拓くことを模索中。英語はできても、常識知らず。文明の揺りかごのなか、甘ったれた幼児的大人の代表みたいな者。この街の新たな繋がりのおかげで、脱皮を繰り返す自分を感じ始めています。緩やかな成長を志向していますので、大目に見てください(笑)。



佐藤 美咲
misaki sato

気仙沼生まれ気仙沼育ち。日本語教師見習い。つながるアジアカフェの中で、日本語カフェやっています。気軽にお喋りしに来てくれたら嬉しいです。どなたでも、お待ちしております。

アジアカフェはまちの縁側です。

日本の方も外国の方も、こどもも大人も、どんな方も大歓迎！

これまでに、インドネシアやスリランカ、フィリピン、ミャンマー、パレスチナなどの料理に挑戦して来ました。今後も気仙沼料理をはじめ、作り方を教わりながら、食を通していろんな人、いろんな文化とふれあってみる場をつくっていきます。

いっしょにやりたい人はぜひ。新プロジェクトも。

活動に関わってみたい人、やってみたいことがある人など、どなたでも大歓迎です。カフェと名乗っていますが、お客さんがスタッフになったり、スタッフがお客さんになったり、関係がいつも結び直されていく場にならないかと思っています。そして商いの場から市民の交流や舞台の場としての場にも役割を拡張してきた商店街や個人商店とも「その先」を模索していけないかと考えています。

そうした、どこまでが誰の領域なのかをあえてあいまいにすることで何が見えるのかを探りたい、そのあり方を「縁側」になぞらえたプロジェクトがスタートします。

「日本語(にほんご)カフェ」もやっています。

つながるアジアカフェといっしょにやっています。

- ・いっしょに日本語を勉強(べんきょう)したい
 - ・のんびりお話(はなし)がしたい
 - ・日本語のつかいかたが知っているか知りたい
 - ・じぶんの国(くに)の話がしたい
- こんな人(ひと)はぜひきてください！



最近つくった料理。左からインドネシアのゆで野菜と揚げ物、フィリピンのクリスマス料理、パレスチナとイスラエルのひよこ豆料理



つながる気仙沼プロジェクト

気仙沼と外国からのみなさんをつなぐ取り組みをしています！

- 主 催 | NPO 法人地球対話ラボ 共 催 | 一般社団法人まちとアート研究所
- 助 成 | 公益財団法人トヨタ財団、一般財団法人 YS 市庭コミュニティ財団、宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン、公益財団法人ノエビアグリーン財団
- 協 力 | 気仙沼 YEG インドネシアフェスティバル、気仙沼インドネシア友好協会、LPK BNS、気仙沼商工会議所青年部、くるくる喫茶うつみ、アチェ・コミュニティアートファウンデーション、宮城学院女子大学永田真聖研究室、一般社団法人アート・インクルージョン

※気仙沼 YEG インドネシアフェスティバルについてのお問い合わせは気仙沼商工会議所青年部までお願いします。



詳しくはウェブや SNS で！

